

2025 年度 第六回 中国地区ジムカーナ部会 議事録

(記)副部会長 中田

【日時場所】

2025 年 9 月 21 日(日)スポーツランドタマダ
地区戦の表彰式終了後

【参加者】(順不同、敬称略)

CMSC 島根(神田)、SLT.C(上程)、FULLHOUSE(中田、田伏、佃)、DELBILLY(馬場、日高)、T4(小田)、HMC(乗本、梶田)、HINODE.C(西島、高屋)、SPIRIT(藤井)、BDC(柳)、Y.C(KAZUYA)

【議題】

①2026 年の R クラス指定タイヤについて

結論:2026 年の指定タイヤは 2025 年から変更せず、現状維持とします。

●経緯・・・長いですが大事なことなので敢えて記載しています。

役員3名と各オーガナイザーの意見を集約した結果、「現状維持」を支持する割合と「RE71RS,A052 を禁止する」を支持する割合がほぼ 50:50 で二分している状況でした。

この状況を踏まえて再度、両方の意見を聞きながら審議を重ねました。

その結果、グリップを下げる方向への変更はまだ解決すべき課題が残っており、2026 年は現状維持が良いと部会にて判断しました。

また二つの案の支持率がほぼ同率で並ぶ状況で、多数決により僅かに上回った方に単純に決めてよい内容でもありません。

今後は 2027 年の指定タイヤ決定に向けて、2026 年 5 月を目途に継続して審議していくことにしました。以下が当日出た主な意見です。

- ・2022 年までは R クラスのタイヤは PN クラス(12D、 β 10、A08B)と差別化できていた。しかし、2023 年から PN クラスのタイヤグリップが下がったことで、R クラスのタイヤは PN 同等となっており差別化できていない。やはり R クラスのタイヤグリップは下げる方向が良いのではないかな。
- ・RE71RS,A052 を禁止した場合、主力になると予想される Z3 が、T28 のシバタイヤとグリップが同程度になるという課題が残っている。似たようなクラスが二つ出来てしまうのでは？
- ・他地区と異なるラジアルクラス規定は、どうなっているのか。

関東は PN 車両に対して T28 タイヤクラスがある。その代わり B・SC クラスはラジアルタイヤ縛りで、S タイヤは全て D クラスとしている。近畿は現状の中国地区に近い形。

※部会後、他地区のラジアルクラス区分の有無、タイヤ規定の確認内容を別紙に記載。

- ・R クラスのタイヤグリップを落とすなら、セットで T28 クラスのタイヤグリップも当初想定していたようなアドバン フレバやミシュランのパイロットスポーツぐらいに落とすべきではないかな。
- ・シバタイヤの TW280 の R31 のサイズラインナップが増えてきている。グリップ的には Z3 ぐらいの性能はありそうで、タイム的にも同等との情報あり。10 月からは 16 インチも発売予定とのこと、来年には参加者に行き渡っているはず。タイム次第では、今後 T28 クラスは R クラスと統合しても良いのでは？

⇒シバタイヤの R31 については、来年の地区戦での R クラスとのタイム差を見てからではあるが、仮にグリップを下げた R クラス指定タイヤ (Z3 やネオバ) とのタイム差が小さいならば 2027 年から T28 クラスを R2・R4 クラスに統合させる (R クラス指定タイヤにシバタイヤも加える) ことも平行して検討します。

②2026年のクラス区分について

【RC クラス】

結論:2026 年から 1500cc 以下の前輪駆動 B 車両についても参加可能とすることで決定。

(2025 年は軽自動車以外では 1500cc 以下の前輪駆動 PN 車両のみでした)

部会での審議の結果、全会一致で決定となりました。主な意見は以下です。

- ・参加可能な車両の幅が広がることで、参加者の増加が期待できる。
- ・FF の小排気量 B 車両は維持費も安いので良い方向ではないか。
- ・チャレンジクラスの学生や若手のステップアップ先として期待できる。

【BC3 クラスを廃止し、R2・R4 と統合するか否か】

結論:2026 年は BC3 クラスの廃止は行わず、現状維持とします。

関係する参加者に聞き取りしたところ、来年から BC3 クラスへ参加することを表明された選手が複数名おられました。

これにより、クラス成立に必要な参加者が集まる見通しが立ったため、審議の結果、BC3 クラスの廃止は不要であると部会として判断しました。

③2026年ジムカーナ部会選出の運営委員について

部会長1名、部会長を除く部会選出の運営委員を2名以内を 11 月末には決める必要があります。現時点での立候補者は以下で、もう一人運営委員の立候補者と推薦を募集します。

部会長:馬場さん(続投)

副部会長:中田(続投)

立候補・推薦の具合的な手続きや選挙管理委員会の任命については別途ご連絡しますので、少々お待ちください。

・今後の予定

10/25:立候補の締め切り

11 月初旬:投票の締め切り

11 月下旬:運営委員の決定

④スポーツ安全保険の保険料について

保険会社から連絡があり、来年から保険料が 150 円上がりますが、中国地区としてはスポーツ安全保険+JMRC 中国共済の合計 3000 円徴収で変更ありません。

※JMRC 中国運営委員会にて 3000 円で値上がり分は吸収可能と判断しました。

⑤CR クラスおよび CL クラスの慣熟走行有無と標記について

チャレンジクラスが CR、クローズドクラスが CL という標記ですが、コントロールタワー内で CL クラスを CR クラスと見間違えて慣熟走行の有り無しで混乱を招いた事例がありました。

これに対し以下2点の対策・変更を行います。

1. CL は「クローズド」とカタカナ標記とする(確認中ですが、カタカナ標記でも問題ないはず)。
2. 2026 年からは CL クラスも慣熟走行有りに変更する。

部会内の全会一致で賛同が得られていますので、26 年の統一規則に上記の変更を織り込む予定です。

⑥各ラウンドでの申し送り事項について

以前は紙ベースでの申し送り事項の伝達がありましたが、手間も掛かることから廃れています。そこで、この部会議事録を使って申し送り事項の伝達を行いたいと思います。

手順としては、議事録の作成担当(今は中田)に、申し送りで伝えたい内容を送っていただければ、そのまま議事録に掲載します。

送る手段はメール、部会公式ラインなど、口頭ではなく文章で送っていただくことをお勧めします。

こちらの手間はほとんど掛かりませんので、お気軽にご連絡ください。

【リマインド】ジムカーナ部会公式ラインの登録をお願いします。

選手・関係者の皆様への情報発信・意見集約のツールとして活用しています。

まだの方は、以下のリンクまたは QR コードからぜひ登録をお願いします。

<https://line.me/R/ti/p/@858kxjry>



以上

全国各地区戦のラジアルクラスの設定有無・タイヤ規定について

北海道地区

・ラジアルクラス設定：無

第11条 クラス区分及びタイヤ制限
＜チャンピオン部門クラス＞＜J A F 選手権部門＞
H-PN クラス
H-PN1 クラス 気筒容積を制限しない前輪駆動（FF）及び後輪駆動（FR）のAT車両を含むPN車両及び全てのP・AE車両
H-PN2 クラス 気筒容積及び駆動方式を制限しないH-PN1クラス以外のAT車両を含むPN車両

※H-PNクラスで利用できるタイヤは当該年全日本PNタイヤ規定に準じる
H-BC クラス
H-BC1 クラス 2輪駆動のAT車両を含むN・SA・B・SAX・SC車両規定に従った車両
H-BC2 クラス 4輪駆動のAT車両を含むN・SA・B・SAX・SC車両規定に従った車両
※H-BCクラスタイヤ規定：当該年全日本BSCタイヤ規定に準じる

東北地区

・ラジアルクラス設定：T28 タイヤクラスのみ有

2025年JAF東北ジムカーナ選手権 共通規則・クラス区分
2025年度JAF国内競技車両規則に合致した車両で尚且つ、2025年日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権規定第11条及び第12条に従い尚且つ下記クラス区分とする。
★SATW-2クラス・・・UTQGのTREAD WEARが280以上のタイヤを使用する2輪駆動のSA車両※1
★SATW-4クラス・・・UTQGのTREAD WEARが280以上のタイヤを使用する4輪駆動のSA車両※1
★SATW-AT クラス・・・UTQGのTREAD WEARが280以上のタイヤを使用する自動変速機付きのSA車両※1
★PN1クラス・・・気筒容積1600cc未満で前輪駆動のPN車両 ※2 ※3
★PN2クラス・・・気筒容積1600cc未満で後輪駆動のPN車両 ※2 ※3
★PN3クラス・・・気筒容積1600cc以上で2輪駆動のPN車両 ※2 ※3
★PN4クラス・・・PN1クラス、PN2クラス、PN3クラスに該当しないPN車両※2 ※3
★BSC-2クラス・・・排気量制限なしの2輪駆動のB・SA・SAX・SC車両
★BSC-4クラス・・・排気量制限なしの4輪駆動のB・SA・SAX・SC車両

※1の記号のあるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。
UTQGのTREAD WEARが280以上（タイヤの刻印にて確認）のタイヤ。
※2の記号のあるクラスは、2025年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権 統一規則 第2章第2条2）を適用しUTQGのTREAD WEAR200以上（タイヤの刻印にて確認）のタイヤも適用とする。
※3の記号のあるクラスは、FIA/JAF公認発行年又はJAF登録年が2007年1月1日以降の車両。

関東地区

・ラジアルクラス設定：関東はPN車に、T28 タイヤクラス有。B・SC車にラジアルタイヤ（β11、RE71RS、A052 が使用可）。

シリーズ規定

1. JMRC関東オールスターシリーズ・クラス区分

クラス	参加車両	気筒容積(cc)・駆動方式	
PN/AE1	P・PN・AE車両	電気式駐車ブレーキが装着された車両	※1
PN/AE2		自動変速機付の2輪駆動(FF・FR)車両	
PN1	PN車両	1,500cc未満で前輪駆動車 (FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2018年1月1日以降の車両)	※1
PN2		1,500cc未満で後輪駆動車 (FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両)	
PN3		1,500cc以上で2輪駆動車(FF・FR) (FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両)	
PN4		PN1クラス、PN2クラス、PN3クラスに該当しない車両 (FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2007年1月1日以降の車両)	
PN5		気筒容積2000cc以下の2輪駆動車(FF・FR)	
PN6		気筒容積2000ccを超える2輪駆動車(FF・FR)	
PN7		気筒容積区分なしの4輪駆動車	
B・SC1	B・SC車両	気筒容積区分なしの前輪駆動車	※1
B・SC2		気筒容積区分なしの後輪駆動車	
B・SC3		気筒容積区分なしの4輪駆動車	
D	D・B・SC車両	気筒容積区分なし・駆動方式制限なし	※3

※1の記号があるクラスは、以下の①又は②に適合し、尚且つ③に適合すること。
(参加者がカタログ等で証明する事。)

① 2025年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章第2条2)に適合するタイヤ。

② 2020年12月31日以降で、1銘柄で単一コンパウンドかつ国内販売が30サイズ以上のラインナップを有する事。
又はUTQGのTREAD WEARが200以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤ。
(複数のTREAD WEARがあるタイヤは同一パターンでも違うコンパウンドと解釈します)

③ タイヤの溝深さはトレッドウェアインジケータ(スリップサイン)が出るまで維持されている事。

※2の記号があるクラスは、以下のタイヤ規制を適用する。
UTQGのTREAD WEARが280以上(タイヤの刻印にて確認)のタイヤのみ使用可。

※3の記号があるクラスは、スリックタイヤ使用禁止。

中部地区

・ラジアルクラス設定：無

第10条 クラス区分

1. JMRCC中部タイトル認定クラス（準国内）

- AT オートマチック限定免許で運転できるP・PN・AE車両*2
PN1 気筒容積1500cc未満の前輪駆動のPN車両（FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2018年1月1日以降の車両）*2
PN2 気筒容積1600cc以下の2輪駆動（FF、FR）のPN車両*2
PN3 気筒容積1600ccを超える2輪駆動（FF、FR）のPN車両*2
PN4 気筒容積1600ccを超える2000cc以下の2輪駆動（FR）のPN車両のうち、FIA/JAF公認発行年またはJAF登録年が2012年1月1日以降の車両*2
PN5 PN1～PN4に該当しないPN車両*2
SA1 気筒容積1600cc以下の2輪駆動のSA/SAX車両*1
SA2 気筒容積1600ccを超える前輪駆動のSA/SAX車両*1
SA3 気筒容積1600ccを超える後輪駆動のSA/SAX車両*1/*3
SA4 4輪駆動のSA/SAX車両*1/*3
B・SC1 2輪駆動のB・SC車両*1
B・SC2 4輪駆動のB・SC車両*1
D （クラス区分なし）
*1の記号のあるクラスは、当該年全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2章 第2条 参加車両を適用する。（タイヤ規制等）
*2の記号のあるクラスは、下記タイヤの使用が認められない。

タイヤ製造者	ブランド名	使用が認められないタイヤ銘柄
住友ゴム工業㈱	DIREZZA	02G/03G/β02/β03/β04/β05/β10
㈱ブリヂストン	POTENZA	55S/11S/06D/06D/07D/08D/09D/12D
東洋ゴム工業㈱	PROXES	88R/888R/R1
横浜ゴム㈱	ADVAN	04R/060/08B
Hankook Tire Co.,Ltd.	Ventus	Z214/TD
Kumho Tire Co.,Ltd.	Ecsta	V710/V700/V70A
GOOD YEAR	EAGLE RS-Sport	V-SPEC/R2-SPEC/R3-SPEC/R4-SPEC
製造者問わず	競技用タイヤ・セミレーシングタイヤと判断されるタイヤ ※競技用タイヤ＝レース・ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ用タイヤ 86/BRZ Race指定タイヤ含む	

*3の記号のあるクラスに参加するSA・SAX車両のタイヤサイズは競技会開催場所内に限り自由とし、当該年のJAF国内競技車両規則第3編第5章スピードSA車両規定第8条B、1、1）④～⑩を除き、当該条項の適用を免除する。ならびに、8、2、1）①の適用を免除する。

近畿地区

・ラジアルクラス設定：B車ラジアルタイヤ（β11、RE71RS、A052 が使用可）クラス有。

【地方選手権クラス区分】				
チャンピオン（CP）シリーズ				
クラス	車両区分	排気量・駆動方式	適応タイヤ	主な車種
1	2PD	P・PN・AE・B車両	ラジアルタイヤ	2ペダル（MT以外）車全般
2	BR1	B車両		軽自動車（FF・FR）・FIT・DEMIO・Vits・スーパーストリアX4
3	BR2	B車両		シビック・インテグラ・スイフト・ロードスター・RX7・MR2・NSX・S2000
4	PN1	PN車両		86/BRZ（ZN6/ZC6）・32スイフト・ヤリス
5	PN2	PN車両		32スイフト・ND0・ロードスター
6	PN3	PN車両		33スイフト・スバル・124・86・BRZ（ZN8/ZD8）・ロードスター・RF
7	BP1	B・PN車両		ランサー・インプレッサ・GRヤリス
8	L	駆動方式フリーのB・SC車両（女性運転者に限る）	Sタイヤ	全般
9	BC1	前輪駆動のB・SC車両		ミラージュ・シビック・CRX・インテグラ・スイフト
10	BC2	後輪駆動のB・SC車両		MR2・RX7・NSX・S2000
11	BC3	4輪駆動のB・SC車両		ランサー・インプレッサ・GRヤリス

【チャンピオンシリーズ、ミドルシリーズ共通注意事項】

- ・両シリーズの2PDクラス細分化および、ミドルのM・PN1クラス新設定を含め、各クラスは参加車両の動向を踏みて2026年以降に検討とする
・同一車両による重複参加（ダブルエントリー）はチャンピオンシリーズ：2名まで、ミドルシリーズ：3名まで認められる
重複参加の進捗に許可される作業期限は同一クラス内に限る、他クラスとの重複参加はこの限りではない
・使用可能タイヤは基本的に、当該年度の全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則第2条2（2-1以外）規定に準ずる
・B車両において保安基準許容範囲を超える車体寸法の変更をした場合、自動車検査証の記載を変更し必要な書類を持って、いつでも証明できるようにすること
なお、構造等変更検査を実施した場合も同様とする
・適応タイヤがラジアルタイヤの各クラスは下表に記載するタイヤの使用を禁止する

タイヤメーカー	ブランド	使用が禁止されるタイヤ
住友ゴム工業（株）	DIREZZA	MOTOR SPORT（ON ROAD・DIRT & RALLY-RACING-VINTAGE）タイヤおよびSPORTタイヤ銘柄のうち、β02/β10） ※ダンロップモータースポーツタイヤ参照 https://mos.dunlop.co.jp/tyre
（株）ブリヂストン	POTENZA	POTENZA RE-に続き、数字と特定の記号（S、D）の組合せで製品名が構成されているタイヤ（例：RE-11S/12D） 製品名にR888を含むタイヤ（例：R888R/DRIFT）
TOYO TIRE（株）	PROXES	
横浜ゴム（株）	ADVAN	AD08/A050/A088
NANKANG RUBBER TIRE	Sportnex	CR-S ※TW=200を超過するタイヤ相当以上のグリップを判断
上記以外のメーカー（海外含む）	ラリータイヤ、レース専用タイヤ、セミレーシング（通称S）タイヤ、競馬用のみタイヤ、 86/BRZレース等対応のカググ上で1サイズのみタイヤ（β05/β06/β09等）は使用不可。 タイヤサイドにTQW（TREAD WEAR）200以上の数字の記載があり、競技当日の車検で確認出来れば使用可とする。 上記にはまらない新製品・明らかに表記よりグリップ・摩耗が激しいタイヤに関して判断基準に従い シーズン途中であっても競争手続期間内での使用を禁止する場合がある。 ※補足：海外メーカーを含め新作タイヤは競走と出てくるまで全ての銘柄を記載出来ないのて上記判断となります。	

チャンピオン、ミドルの両シリーズで使用可能な主な「ラジアルタイヤ」	DIREZZA β11/Z3、POTENZA RE71RS/RE004、ADVAN A052/AD08&09、PROXES R1R、シバタイヤ（TW200以上）等
チャンピオンシリーズの「Sタイヤも可」のクラスで使用可能な主なタイヤ	上記ラジアルタイヤ、および、DIREZZA 03G/β10、POTENZA RE11S/12D、ADVAN A050/A088、PROXES R888R/DRIFT 等のSタイヤ

四国地区

・ラジアルクラス設定：B 車ラジアルタイヤ (β11、RE71RS、A052 が使用可)クラス有。

第3条 車両およびクラス区分

1. JAF 四国ジムカーナ選手権

a. B 車両・SC 車両・AE 車両

BSC1クラス：2輪駆動のB・SC・AE車両

BSC2クラス：4輪駆動のB・SC・AE車両

b. PN 車両

PNクラス：2輪駆動のPN車両。

c. B 車両

R1クラス：気筒容積1150cc以下の後輪駆動のB車両

：気筒容積1500cc以下の前輪駆動および4輪駆動のB 車両

R2クラス：気筒容積1500ccを超える前輪駆動のB車両

R3クラス：気筒容積1150ccを超える後輪駆動のB車両

R4クラス：気筒容積1500ccを超える4輪駆動のB車両

：4輪駆動のPN車両

2. PN クラス

当該年の「全日本ジムカーナ/ダートトライアル統一規則 第2章 第2条 2)を適用する。が、ヨコハマタイヤ A052 は、使用可能とする。

3. R1・R2・R3・R4 クラス

(1) R1・R2・R3・クラスは表1記載のタイヤを使用禁止とする。

(2) R4クラスは、以下の通りとする。

・表1のタイヤを使用禁止とする。

・PN車両は、当該年の「全日本ジムカーナ/ダートトライアル統一規則 第2章 第2条 2)を適用する。

(3) 新たに販売が開始、またはモデルチェンジされた表1中の※1、※2に該当しないタイヤは、基本的に使用可能とする。その性能確認により、猶予期間なしに使用不可と判断する場合がある。

(4) 新たに使用不可と判断したタイヤはJMRC 四国にて適時発表・告知する。

表 1	住友ゴム工業(株)	DIREZZA	02G・03G・β 02・β 03・β 04・β 05・β 06・β 10・94R・201R・301R
	(株)ブリヂストン	POTENZA	55S・11S・05D・06D・07D・08D・09D・10D・12D・12Dtype-A
	東洋ゴム工業(株)	PROXES	881・888・888R
	横浜ゴム(株)	ADVAN	048・050・A08B・A08B SPEC-G
	日本グッドイヤー(株)	EAGLE/RS-SPORT	V-SPEC・R2-SPEC・R3-SPEC・R4-SPEC
	Hankook	Ventus	Z214・TD
	Kumho	Ecsta	V710・V70A・V700
	NANKANG	Sport nex	AR-1・NS-2R
	※1海外タイヤ製造者製を含む通称Sタイヤと判断される物、及び縦溝のみのタイヤ		
	※2製造者問わずセミレーシングタイヤと判断されるタイヤ、ラリー・ダートトライアル・ジムカーナ・レース専用タイヤ		

九州地区

・ラジアルクラス設定：B 車ラジアルタイヤ (β11、RE71RS、A052 が使用可)クラス有。

2025 年度 JAF 九州ジムカーナ選手権 /JMRC チャンピオンシリーズ クラス分け

クラス	車両区分	JAF 登録年制限	車両区分	タイヤ区分 (制限)	代表車種
AT	AT 自動車		B	*九州ラジアル規定	全ての AT 自動車
B1	軽自動車		B・SC・SAX	*九州ラジアル規定	全ての軽自動車
B2	気筒容積 1,586cc 以下の前輪駆動		B・SC・SAX	*九州ラジアル規定	ZC31.32 スイフト・デミオ・FIT・FFヤリス
B3	気筒容積 1,586cc を超える前輪駆動		B・SC・SAX	*九州ラジアル規定	シビック・インテグラ
B4	全ての後輪駆動車		B・SC・SAX	*九州ラジアル規定	MR2・RX7・NSX・エキシージ
B5	B1・B2・B3・B4 に該当しない車両		B・SC・SAX	*九州ラジアル規定	ヤリス・ランサー・インプレッサ
PN1	気筒容積 1,500cc 以下の後輪駆動		AE・P・PN	2025 年全日本 PN タイヤ規定	ND ロードスター・S660
PN2	気筒容積 1,500cc を超え 2,000cc 以下のFR (2シーター除く)	2012 年 1 月 1 日以降	AE・P・PN	2025 年全日本 PN タイヤ規定	IB 86・IB BRZ
PN3	気筒容積 1,500cc を超える2輪駆動 (FR/FF)		AE・P・PN	2025 年全日本 PN タイヤ規定	新IB 86・新IB BRZ・ロードスター RF・124 スパイダー・33 スイフト・Z34
PN4	PN1・PN2・PN3 に該当しない車両		AE・P・PN	2025 年全日本 PN タイヤ規定	GR ヤリス・ランサー・インプレッサ・エキシージ

*九州ラジアル制限規定 (使用禁止タイヤ)

海外タイヤ製造者製を含む通称 S タイヤ及び縦溝のみのタイヤは使用不可とする。

ブリヂストン：520S・540S・55S・11S・11A2.0/4.0・05D・06D・07D・12D・12D-A

ダンロップ：93J・98J・01J・02G・03G・Z2-B/α・8-10・B-03・β-04

ヨコハマ：021・032・038・039・048・A050・A08B

トーヨー：FM9R・08R・881・888・R88B・R888R

グッドイヤー：RSsport・86S・R2・R3・R4・VspecRS-sport・SspecRS-sport・RS-sportS-spec

ファルケン：アゼニスRT615K

但し、これに準ずると判断されたタイヤは使用不可になる場合があります